

出会い ふれあい 助け合い

サロンのあべの

VOL.172

車いすで、ダンス！ダンス！ダンス！



くからあるオールドタイムダンスや16小節の繰り返して踊るシークエンダンスが広く踊られていた。

ヨーロッパには、戦争による障害者やスポーツ(ウィンター・スポーツ・乗馬など)や交通事故で障害を負う人たちが多く、社交にスポーツに、そして、あらゆる職業にと社会進出もめざましく、車いすダンスも早くから楽しまれていた。

近年のような障害者スポーツとしてのポールルームダンスを取り入れたのは、ミュンヘン工科大学のクロムホルツ博士で、博士は英国から持ち帰った車いすダンスを障害者の学生と健常者の学生、そして助教授たちといろいろな研究を重ねた。自らもダンス教師の資格を持ち、競技ダンスのすばらしさを知る博士は、何とかそのスピード感と

へサロン・あべのの9月の出会い

平成12年9月16日(土)午後

1時からへサロン・あべのの9

月の出会いを開催しました。

9月のパネラーは、「ウィル

チアードダンス育成会」会長の

中谷まゆみさんをお願いして、

「車いすで、ダンス！ダンス！

ダンス！」のテーマでお話を伺うとともに、参加者もダンスのレッスンを受けました。

車いすダンスの歴史

車いすダンスは、はじめ英国でデュオスタイルといわれる車いす同士の踊りから生まれ、古

優美さを車いすでも表現しようと試みた。

1972年に博士は、その生徒たちを競技ダンサーとして競技会に出場させ、ようやく競技会が開かれるようになったヨーロッパの状況を大きく成功させる原動力となった。クロムホルツ博士を会長に、国際車いす連盟が1973年に設立された。加盟国は、現在40カ国。日本は1993年に理事国になった。

ウィルチェアーダンス育成会

中谷まゆみさんは、5年ほど前から車いすダンスを習い始め、いろんな壁に突き当たった。その時習っていたものでは、スタンディング(立っている人)とウィルチェアー(車いすの人)の関係が、自分の考える内容と違っていた。それで新しい車いすダンスの会「ウィルチェアー

ダンス育成会」を1999年10月に設立した。世界で初めて障害者自身が、車いすダンスの指導者となった。

ウィルチェアーダンスは、車いすを体の一部と考え、その人の足と考えている。車いすで踊る人が主になり、輝いて見える踊りを目指す。パートナーであ



華麗に舞う中谷さん(右)と山下さん

るスタンディングの人は、車いすの人が美しく見えるように踊る。今までの車いすダンスは(ソールシャルダンスなど)、スタンディングとウィルチェアーがペアになっていて二人で一对であっ

たがウィルチェアーダンスは二人が独立して踊りを考える。ウィルチェアー自身が生み出す社交ダンスをベースとした障害個性の創作ダンス。障害の重度・軽度にかかわらずウィルチェアーであれば、誰もが踊れる「21世紀の舞」だと自負している。

ウィルチェアーダンスのレッスン

参加者がスタンディングとウィルチェアーのペアを組み、文字通り手取り足取りのレッスンが始まる。クイック、クイックスローのリズムで前進と後退を繰り返す。この時に大事なことは、二人の手はドラム缶を抱くような円形を保つこと。腕を曲げないでウィルチェアーの顔や首筋が美しく見えるよう心がける。音楽に合わせてリズムをとりながら、次はターンの練習。ス

タンディングがウィルチェアーの脇へ足を踏み込み回る。ウィルチェアーは追いかけるようにその場で回転するように回っていく。この前進や後退ターンの動作は簡単そうに見えるが、初めて踊る人たちは、難しく互いに手が重いという。しかし、練習を重ねるうちに息があうペアもでき、軽ろやかな動作でスム



いっしょに、クイック クイック スロー

ーズに動けるように。ホールに笑顔がこぼれた。

アルゼンチンタンゴを鑑賞

お茶で一息入れた後、中谷まゆみさん自身振り付けのアルゼンチンタンゴを鑑賞した。スタンディングの軽やかな足運びに合わせてウィルチエアーが滑るように動く。早く動くなかにタンゴのリズムに乗った切れ味がぴたりと決まる。足の踊りを車いすだからこそできる動きで対等に向かい入れていた。

アルゼンチンタンゴは、アルゼンチンの港の娼婦が踊ったもので、内面を抑え、男と女の情念をダンスに表現しているといわれる。その要素は十分含まれていて、その息づかいを感じさせる官能的なものだった。

レッスンの後、参加者の自己

紹介と質問や感想を聞く。

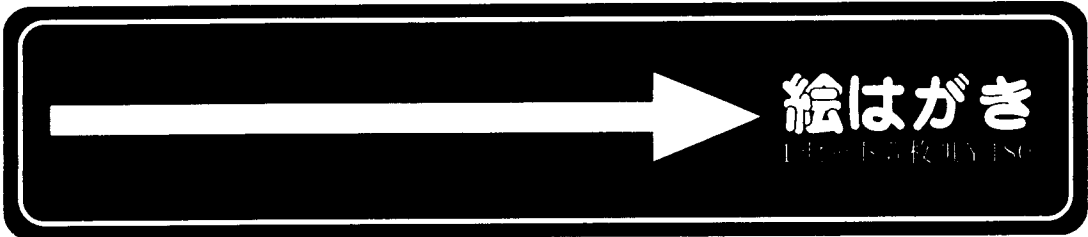
Q. 踊っていて笑顔が絶えないのは？

A. いつも18歳の気持ちでいるから。どんな年齢の人にもそれは言っている。笑顔を美しく見せるため鏡をよく見る。顔だけでなく首、肩、腕などの線の動きは、障害者の障害に応じた一番美しい動きを考える。車いすを使用している人が踊っている時、輝いて見えるダンスをしたい。

毎月第一と第三日曜日の午後12時に長居障害者スポーツセンターで練習されています。興味のある方は一度のぞいてみてはいかがでしょうか。

車いすダンスの奥深さの一端を知ったハサロン・あべのV9月の出会いです。

参加者18名(山村貴司)



お知らせ

ハサロン・あべのV11月の出会い

日時: 11月18日(土)午後1時~4時
場所: 育徳コミュニティーセンター

研修室(スロープ・車いすあり)

〔大阪市阿倍野区阪南町5-15-28〕

内容: 私の楽しみ

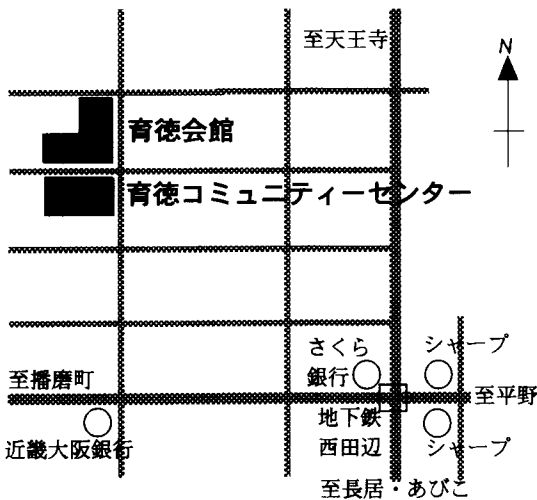
フィッシング&ダイビング

パネラー: 鈴木千春氏&安原美佐子氏

会費: なし

問い合わせ先:

TEL 06-6691-1028 (富田慶子)



自立生活理念を考える —自己決定と介助—

■ 5 ■

黒田 隆之

前回、障害者の自己決定を考える場合、自己決定したことが実現するかどうかということを考える必要があると述べた。今回からは、自己決定を実現するために必要なものの一つである介助に関して、特にその言葉の定義について「介助」と「介護」の相違をもとに考えてみたい。

「介助」や「介護」という言葉は比較的新しい言葉でもあるため、その定義もさまざまで、「介助」と「介護」を使い分けている人もいれば、違いを意識せずに混在して使用している人もいる。

「介助」と「介護」という言葉を意識し

て使い分けている北野誠一先生は、Careという病人が依存的・受動的に介護者から世話を受けるといふニュアンスが含まれている表現に対応する言葉として介護を、Personal Assistance & Attendant Serviceなどの援助者と利用者のより対等な関係が感じられる表現に対応する言葉として介助を用いている。

障害者にも、「介護」の「護」の字が持つ抑圧性を嫌い、「介助」という言葉を使う人も多い。特に「介助、介護、看護、後に行くほど医療的色彩が強くなる」という意見も障害者の間ではよく聞くことができる。

まず、辞典における「介護・介助」の定義を見てみよう。『現代社会福祉学辞典改訂版』（全国社会福祉協議会）においては、「介護・介助」の項目で「重度の心身障害者や寝たきりの老人、病人など日常生活を営むうえで生ずる諸困難に対するサービスを介護・介助という」と定義している。

『現代福祉学レキシコン』（雄山閣出版）においては、「介護負担」の項目の中で、「『介護』とは、普通、障害などにより日常生活を営むのに支障のある人に対して身辺

の援助を行うことをいうが、看護、介助、お世話などと厳密に区別することなく使われており、明確な定義はないといえる」としている。

そして、中島紀恵子先生は、「介護をすることがかかわりをもつ対象は、自立生活を獲得してきたか、又は獲得することを求めている生活上の障害者である」としたうえで、「介護とは、健康や障害の程度を問わず、衣・食・住の便宜さに関心をむけ、その人が普通に獲得してきた生活の技法に注目し、もし身の回りを整えるうえで支障があれば、『介護する』という独自の方法でそれを補い支援する活動である。すなわち、身体的、心理的、社会的、すべての面において、その人自身が人間として人生になそうとしていることを病気や障害あるいは単に老いのために無に帰すことのないように補い助け、ときには自らが積極的に行動する役目を担うこと、また学習やレクリエーションならびに社会参加を直接的、間接的に助けることができるようによりよい方法を企てていく活動である」と定義している。

〈サロン・あべの〉の代表って、誰やっ
たかな？そう言われれば、半分くらいの人
が、この人のことを思い浮かべるんじゃない
でしょうか。そうです。富田さんです。

〈サロン・あべの〉の初代代表であり、
現在も、事務局として重要な役割を担って
いる富田慶子さん。〈サロン・あべの〉の
顔であり、求心力の源と言えるでしょう。
その富田さんに、あらかじめ質問をして、
それに答える形で、〈サロン・あべの〉に
対する思いを書いてももらいました。

富田慶子（とみたけいこ）

〈サロン・あべの〉が、ボランティア活
動の場として認知されるまでの間、あべの
ボランティア・ビューローのビューローグ
ループに籍を置いていました。ビューロー
グループは、阿倍野ボランティア連絡協議
会の中にありました。私が、地域で何か活
動がしたいと考えていたところ、大阪ボラ
ンティア協会の、今は亡き柴田先生に、阿

倍野区にビューローが設立されることを教
えていただき、早瀬さんや岡さんを紹介し
ていただきました。その後、阿倍野ボラン
ティア連絡協議会のボランティアスクール
を受講し会員となりました。何ができるか
分かりませんでしたが、岡さんから連絡を
いただいでビューローグループに入れてい
ただきました。そこで、ボランティア活動
の楽しさを知りました。

ボランティアスクールの受講生をはじめ、
あべのボランティア・ビューローで出会っ
た方々は、とても積極的な方ばかりで、障
害のあるなしに関わらず、対等に話ができ
る雰囲気がありました。このような場を、
もっと広く持ちたいと考えていた時に、岡
さんから自分たちでグループを作ってみな
いかと話がありました。ビューローに登録
している障害者やスクール終了生にも声か
けがあり、準備委員会が出来、そこへ参加
しました。

参加した障害者は、皆、大きな夢を持っ

ていたと思います。障害者の地域参加と社
会的平等を、このサロンから発進したい。
生活や仕事関係の相談を受けられるように
したいと言っておられた方もいました。し
かし、何をしたいか、暗く模索
試行錯誤の連続でした。ただ、仲良きこと
は良いことで、気を使い合う人がいなかっ
たのは良かったです。

サロンでは、障害を持つ人も持たない人
も、お互いを尊重し合いながら、話ができ
る雰囲気があります。また、個人の生活に
関心は持ってても、深入りはしない。それぞ
れの生き方にエールを送る心遣いがありま
す。学歴や職歴も表に出さない（能ある鷹
は爪を隠す）が、いざ必要となれば惜し気
もなく出して、サロン運営に活用されます。
人として信じられるものを、感じ取れる人
たちがいるから。安心してつき合える人た
ちがいるからだと思います。

昔は、人に声を掛けられると、障害を聞
かれたり宗教に誘われたりと、嫌な思いを
したのですが、サロン活動に参加してか
らは、人と出会うのが楽しくなりました。
初対面の人でも、話を聞くうちに、なんら
かのつながりが見えてきます。人は一人で

は何もできないと、よく言われることですが、サロンも、本当に多くの人たちに支えられている事を知るので。それがとても嬉しいのです。一期一会を大切に、それがサロンネットワークの結び目のひとつひとつになっていくと思っています。得たものは、人との出会いと自らの健康。毎日、サロンの何らかの用事に追われているからでしょうか。風邪ひきにも極力注意をしながら生活しています。

サロン活動も十五年目に入りましたが、運営委員の人材の豊かさは、常に他の賞賛的のです。代表も三代目に入りました。この豊かさにおごれることなく、いつもサロンで何やる?という気持ちをし、持ち続けて行きたいと思えます。何でもありのサロン。出会いを大切に、サロンを歩き交う人たちに、ひとときのオアシスを感じてもらえるようになりたいと思っています。二十一世紀は、インターネット革命が進み、本当に、人と人との、生の出会いが大切になってくるのではないのでしょうか。サロンは、生の出会いとふれあいと、そしてその時々
の知恵を、お互いに共有できる場であってほしいものです。

ききみみずきん

運動会

天高く、爽やかな風が吹くころになると風向きによって小学校の運動会の練習の声や音楽が届くことがあります。それに乗ってキンモクセイの香りも届きます。それで家に居ながらにして秋の訪れを感じるのですが、運動会そのものは、身近に子どももおらず遠いものでした。ところが今年、生まれて初めて運動会に参加しました。毎年大阪市肢体障害者協会が長居公園の中にある野球場で障害者会員と家族のための体育祭を開催しています。いつもはテントの影から出場者を応援して、観ることを楽しみにしていたのですが今年、電動車いすのお二人から上手に誘われて出てみる気持ちになりました。大きな声では

言えませんが、生まれてこの方運動場に見学以外で出て行ったことはありませんでした。帽子の用意もなく日傘をさしながら順番を待っている自分の姿が滑稽に思えましたが、ヨイの声で傘をたたみ、ドンの音でゴール目指して発進。ピンポン玉をスプーンに乗せて運ぶスプーン運びと、袋に入ったパンを口でくわえるパン喰い競争に参加しました。観ていると、どれも難しそうでしたが、やってみるとそれほどでもなく参加することに意義があるスポーツ精神にちよこっと触れた気がしました。その時の青空の広がったこと、シドニーにもつながっていますよね・・・

(け)

★学ぶこと、生きること

生まれたばかりの赤ん坊には、すでに二つの本能があると考えられてきた。それは食べることと眠ること。食べことは赤ん坊にとつては母乳、またはそれに代わるものを飲むことである。この二つの本能によつて、赤ん坊は母乳を飲んでるか眠っているか、そのどちらかのような日々を過ごしているように見える。

ところが最近の科学者は、もうひとつの本能を考えはじめた。それが学ぶことである。赤ん坊は誰に言われることなく学んでいく。その学びの歩みは生後まも



なく始まる。たとえば部屋のなかを這い回り、何にでも手を出し口に入れてみるという赤ん坊の行動は、新しいことを学ぼうとする本能的な動きなのである。

学ぶことが本能であるなら、学ぶことにとりたてて理由は必要ない。食べたくなつたから食べる、眠たくなつたから眠る。それと同じように人は学びたいから学ぶ。誰に教えられたり強いられたりしたわけでもない。人は生きていくかぎり自然に学び続けるのである。

食べることが楽しい人は健康な人である。よく眠れる人も、またそうである。同様に楽しく、よく学ぶ人は人間として健康である。逆にいえば、よく眠れないのは辛く、適度な食欲がないのは病気の兆候である。学ぶ意欲が薄れたり、あるいは学びたくてもよく学べなかつたりすると私たちの心は暗くなる。

私たちにとつて不幸なことは、学ぶことが「勉強」と結びつけられ、辛く苦し

い、強いられたものとしてのイメージが与えられてしまつていゝことであろう。

八十をすぎて大学生になつた人の話が新聞記事にあつたが、記事はその人を「高齢でも学ぼうとする意欲がある立派な人」として描いていた。しかし学ぶことが本能なら、その人は「立派」というより、むしろ健康なのである。また記事は大学で学んだ知識をどう使うつもりなのか質問していたが、そのような質問は食べることを楽しんでいる人に「それを食べて得た活力で何をするつもりか」と聞くのと似ている。食べること自体が喜びであり目的である。それと同様に学ぶことそのものが喜びであり目的なのである。食べることが本能でも栄養のバランスを考えず、甘いケーキや菓子ばかりを食べていては身体をこわすだろう。それと同じように学ぶことも、学ぶ内容によつては人の心を潰(つぶ)してしまふ。たとえば映画やテレビで暴力や残忍な行為

を見て覚え、店頭から物を盗むことを学ぼうよにならば、私たちの心は荒(すさ)むことだろう。

食べることを強いられ、食べないと罰せられる環境にいる子どもたちがいるとしたら、自然な行為であるはずの食事も喜びのない苦痛なものとなり、人の成長にも妨げになる。同じように「勉強しなさい！」と学ぶことを強いられ、「これ覚えたら、おもちゃを買ってあげる」などと言われ、学びとは無関係なところからその動機を与えられると、その人の学ぶ本能は傷つけられ、豊かで自然な学びへの欲求は抑えられてしまうのである。

学びを本能的な行為と見ることは、よりよく学ぶこと、それ自体が人間の深い喜びであることを教えてくれる。何を食べ、何を食べないかを選ぶことによって健康を維持するように、自分が何を学び何を学んでいないかを自覚し、学ぶべきものを意識的に選ぶことで私たちは自分の心を整えることができるはずだ。(知)

植物あれこれ 第二十一回 山口康二郎

—コスモスはいつ咲くの?—

年のせいばかりでなく、今年の夏は暑かった。気象庁によると、大阪の最高気温が



三十五度以上になった日が二十五日間あったといえます。

ちなみにこれを気象用語で「酷暑日」と呼ぶらしい。どうみても大阪は日本一暑い都市であるという証明です。その酷暑にたまらなくなり、大阪を逃げ出すことばかり考えながら書いた、先月号の私の文に対して、

「何かしら、今までで一番理屈っぽくて暑苦しい文章だった」
と、辛辣な感想が返ってきました。誰だろう、それは我が妻君でした。

私は、それに対して怒る気も起らないくらい、暑さ負けしてしまいました。書き終えるや、私は大阪を逃げ出し、和歌山の田舎へ行きました。

大阪より南なのに、なぜ過ごし易いのかをしみじみ考えさせられました。

しかし、先人の諺通り、彼岸を境によ

やく秋が大阪にもやって来ました。そこで気がついのは、秋分の日を境に和歌山と大阪の最高気温が逆転し、大阪の方が低くなったことです。秋の深まりと共にそれはよけい顕著になってくるでしょう。

ちょっと前置きが長くなり過ぎましたが、本題のコスモスの話に入ります。暑い最中の八月の中頃、ある人から

「コスモスが咲いています、コスモスはずっと秋になって咲くものでは・・・」と、質問を受けました。

以前、ソメイヨシノは一年の気温変化そのものの働きかけで同じ季節に開花すると書きましたが、コスモスは気温ではなくて、一日の日の長さで花を開くのです。

植物にとっては、一日の日照時間は非常に重要なことです。一日の日照時間とか日照量は晴天であった場合と、曇りや雨の日などでかなり差はありますが、十日間とか二十日間という長い期間でトータルすると、夏至と呼ばれる六月二十日頃を境にして日照時間はだんだん短くなっていきます。この日照時間の積み上げが、植物の開花ホルモンを「活性化」させて、コスモスに開花

を促すのです。このような植物を「短日植物」ということは皆さんもご存じでしょう。コスモスは菊科に属する植物ですので、秋に咲く菊は短日植物です。

最近、菊などは、一年中花屋の店先に並んでいるのは、この短日植物の性質を利用

して温室などで、人為的に、照明によって開花を調節することで、比較的簡単に出来るからです。

しかし、やはりコスモスは秋が似合いますね。

美智子のこんな話



岸田美智子

ヘルパーさんが倒れる！ その2

前号に、ホームヘルパーさんが倒れた時に、緊急連絡先が繋がらなかったハプニングの事を、書かせていただきました。そ

の中で、所長さんは「やはりこれからも緊急連絡先は、私の携帯電話で対応します。それ以上の対応は難しい」と、繰り返すばかりでした。「それに、住吉区だけ特別なことは出来ない。公平なサービスを提供しなければならぬので」とも言いながら、今後の緊急時の連絡体制については、考えようとしていませんでした。これに対して、所長さんの携帯電話だけでは限界があるのは目に見えていますし、今回起こった事は、今後もあり得ることであり、社協のヘルパーは今後、障害者対応専門になり、朝九時〜夕方五時以外の時間帯が、ますます増えてくる(障害者の場合は、日中どこかの作業所へ行ったり、いろいろな活動に参加して自宅にはいないわけですから)問題だと

訴えていきました。

そして、大阪市の在宅支援係の方に、この話をして行こうと連絡を取ったりしていると、所長さんから連絡があり「社協本部の業務課に新しい電話を引き、転送できるようにしましたので」と、その新しい電話番号を伝えてきました。これで、所長さんの携帯電話を含めて二カ所になり、私の要求してきたことは実現されました。でもこの所長さんの携帯電話を含めて、業務課の新しい緊急対応の電話番号を、私以外の利用者(障害者)に、知らせてくれるのでしょうか。

特に、私のように朝九時〜夕方五時以外の、フレックスタイムで利用している障害者には、必ず伝えて欲しいものです。今回のハプニングは、今後どこで起こるか誰にもわからないのですから。そして、このような連絡体制が行き届いてこそ、障害者は安心して利用でき、そして、ヘルパーさんも不安なく仕事に集中できると思います。でも、何より一番良いのは、やはり朝七時〜夜九時までの実働時間帯は、フリーヘルパーが待機していることです。今後も皆

でこのような体制を要求していきたくと思っています。

これを読んでくださった皆さんの中でも、もし、ホームヘルパーを利用して、何かトラブルがあった事がありましたら、ぜひ、お知らせください。

このような声が少しずつ、より良い介護のあり方につながっていくと思うのです。皆さん、どんどん声を出していきましょう！

自立生活センター・MYRDO〜まいど〜
(担当||岸田)

〒五五八-〇〇〇二

大阪市住吉区長居西一-九-十二

TEL 〇六-六六〇九-三三三三

FAX 〇六-六六〇九-三三二〇

E-mail

oil-mydo@jasmine.ocn.ne.jp



朗読テープの目録

朗読グループ「ほけっと」のご協力で(サロン・あべの)紙一七二号の録音テープ(六〇分)が出来ました。

朗読テープ文庫

- I (サロン・あべの)紙は、第一号より一七一号までそろっています。(五〇号は九〇分と六〇分の二本のテープに、一〇〇号は一二〇分テープ二本)
 - II (サロン・あべの)十周年記念誌「はーとが、はるー！」(九〇分テープ二本+一二〇分テープに収録)
 - III 絵本「未知の記憶」(作・絵 中川勝彦)
 - IV 「ラジオたんぼ」放送『(サロン・あべの)平成七年五月の出会い』放送分(三〇分)
 - V エッセー集「逃げた『ヨナ』」ポランティア活動の周辺(岡本栄一著||糸でんわ音訳)
 - VI 「キミたちだけが困るんだ」身障者だけで旅した十余年(山田誠1995・2・22著||糸でんわ音訳)
 - VII 「金子みすずへの旅」(島田陽子著・九〇分テープ二本||糸でんわ音訳)
 - VIII 「タヤけ空のオニヤンマ」(牧口一二著・九〇分テープ四本||糸でんわ音訳)
 - IX 「ガベちゃん先生の自立宣言」(曾我部教子著・九〇分テープ五本||糸でんわ音訳)
 - X 「セルフヘルプグループ」(岡知史著・九〇分テープ二本+二〇分テープ||糸でんわ音訳)
 - XI 「名物 天王寺かぶら」(猿田博創作 難波利三監修||大阪市立天王寺図書館制作)
- いずれもご希望の方には、タビング、または貸し出しをしますので、富田までお申し出ください。

(☎〇六・六六九一・一〇二八)



サロン隣組ニュース

■「サロン淀川」11月の社会い

日 時: 11月19日(日) 午後1時30分~午後4時

場 所: 淀川区民センター「やすらぎ」

大阪府淀川区三国本町2-14-3

内 容: 使用済み切手の行き先は?

~リサイクル運動で身近な使用済み切手を使って~

パネラー: サロンメンバーで元切手収集家の指導で、

参加者が著作・・・

会 費: なし

問い合わせ先: 淀川区社協(ボランティア・ビューロー)

☎06-6394-2900

■「サロン・ひらの」11月の社会い

日 時: 11月11日(土) 午後1時30分~4時

場 所: クレオ大阪南

大阪府平野区高車西6-2-33

内 容: 60分? クッキング!

~ちぢみ教室~

講 師: 三好喜代美さん(ここにこセンター)

会 費: 500円(材料費含む)

申し込み締め切り: 10月31日

問い合わせ・申し込み先: 平野区ボランティア・ビューロー

大西 ☎06-6795-2200

■「サロン・にし」11月の社会い

日 時: 11月11日(土) 午後1時30分~5時

場 所: 西区ボランティアビューロー室

大阪府西城北堀江4-5-14 6階(西区役所隣)

地下鉄=西長堀駅4-A号出口からすぐ

市バス=地下鉄西長堀駅からすぐ

内 容: 大人も、子供も、みんな集まれ!!

パソコン体験入門!!

~ティータイムとレクリエーションゲームもある楽しい交流会~

会 費: なし

問い合わせ先: 宮脇 ☎06-6537-0241

■「サロン・たみ」11月の社会い

日 時: 11月25日(土) 午後2時~3時

場 所: 仲幸苑 伊丹市寺本6-150

内 容: ポストカードを作ろう

会 費: なし

問い合わせ先: 橋本 ☎0727-76-6765 (19時以降)

■「ウイズ東淀川」11月の社会い

日 時: 11月12日(日) 午後1時30分~4時

場 所: 東淀川区在宅サービスセンター「ほほえみ」

大阪市東淀川区菅原4-4-37 ☎06-6370-1630

内 容: 元・共済会を旅して

講 師: 中西邦夫氏(アマチュア画家)

会 費: なし

問い合わせ先: 鈴木昭二 ☎06-6340-3082 FAX06-6340-3012

■小さな友の会・こころの集い

日 時: 11月17日(金) 午後6時30分~

場 所: 岸和田市福祉総合センター

岸和田市野田町1-5-5

内 容: 心の病は心の使命である

~精神障害を生きる力に変えるために~

パネラー: 林根雄氏(げんきの会代表)

会 費: なし

問い合わせ先: 小さな友の会 ☎0724-22-0685 (夜間のみ)

E-mail: tiisanatomcnokai@di.pdx.ne.jp

ありのままの姿

私は時々、車いすで講演や語りをするために出かけます。

普段はなんともないのですが、人前でしゃべるとやはり緊張するの、ふと気がつくとう左足がピーンとあがっています。格好は悪いのですが、そのままの状態でしゃべっているといつのまにやら左足はまた元にもどっています。

ところが先日、某研修センターで語りをした時、体調が思わしくなく両足がガタガタ震えて止まりませんでした。それで両足を紐で括ってステージに立ちました。最初のうちは何ともなかったのですが、途中から再び震え出したので右手で両足を押さえながら語りました。そのた

晴れのち晴れ

25

稲垣 恵雄

めに足ばかり気になって間違ったりとちったりしました。

そういえば友人からこんな話を聞いたことがあります。サッカーのK選手は顔がかくれるぐらいに髪の毛をのばしているのですが、試合中、調子の良い時はたとえボールが見えにくくても集中できるそうです。でも体調の悪い時には髪の毛がじゃまになって、うしろで束ねておかないと思うように試合ができないということでした。

このK選手の話聞いて、私は考え方が変わりました。どんな場合でも気取ったり銜うことなく、ありのままの姿でその場に臨めたら自分のもっている実力を発揮できるのではないのでしょうか。

FROM EDITOR

編集後記

ホールの真ん中に3メートル四方くらいの空間を舞台に取り、その周りに観客用のいすを並べて・・・、これではダメ。狭い。車いすダンスの知識がなさ過ぎました。とにかく、いっぱい、いっぱいホールを使ってもまだ小さい。フィナーレのアルゼンチンタンゴは大きく、圧巻でした。感情移入、動き・・・すごい。思わず身を乗り出しました。(石)

編集人；サロン・あべの運営委員会・<サロン・あべの>Vol.172 [H.12.10.21.発行] 定価¥1000.
 代表；山村貴司〒546-0033 大阪市東住吉区南田辺5-1-18 TEL06-6691-9071
 連絡先；富田慶子〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 TEL・FAX06-6691-1028
 表題；井上憲一・筆 文中イラスト；石田美禰子
 郵便振替口座；サロン・あべの 00950-9-26941
 印刷；セルフ社〒546-0044 大阪市東住吉区北田辺町4-23-2ミスターDEビル2F TEL06-6719-8212